

# 全木連時報

11月25日(火曜日)  
(第548号) 毎月25日発行  
平成15年(2003年)

発行所  
社団法人 **全国木材組合連合会**  
代表者 後藤隆一  
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215  
URL http://www.zenmoku.jp

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

## 経済活性化に向けた景気対策を要望

### 住宅ローン減税継続などを求める

全木連及び全木政連は、さる十一月十九日、衆参両院の国会議員に対し、経済活性化に向けた景気対策の実施を要望した。木材産業を活性化し、需要を創出するため、さきの第三十八回全国木材産業振興大会で採択された宣言決議の内容の実現を要望した。

具体的には、補正予算の早急な編成や住宅ローン減税の継続延長などを盛り込んだ。なお、十一月六日には、都道府県木協連会長及び北海道府県木政連会長に対し、国会議員や知事、市町村長、地方議員等への要請活動をすみやかに展開するよう依頼した。要望の内容は次の通り。

### 経済活性化に向けた景気対策の要望

木材産業の振興につきましては、日頃から格別のご支援を賜り、ありがとうございます。

受賞をお慶び申し上げます

平成十五年秋勲章・褒章受賞者(敬称略)

- 旭日中経章 俊成 薫(愛媛県) 旭日双光章 下谷 充(愛知県)
- 旭日小経章 篠崎 昌平(栃木県)
- 旭日小経章 佐野 光男(北海道) 黄綬褒章 櫻井彰市郎(岐阜県)
- 旭日小経章 瀬上 和雄(岐阜県) 黄綬褒章 今泉 正男(静岡県)
- 旭日双光章 杉本 幸敏(宮崎県) 黄綬褒章 卜部 能尚(奈良県)
- 旭日双光章 野上 満男(茨城県) 黄綬褒章 葛本 幹男(和歌山県)
- 旭日双光章 前山 正一(石川県) 黄綬褒章 小野 和彦(広島県)

況感にもはつきり表れてきています。一方、円高の進行、金利の上昇、業種間の回復の遅れなど、景気浮揚に向けて解決すべき問題点もあり、こうした状況を一日も早く克服して、経済を本格的・持続的安定軌道に乗せることが重要であります。

木材業界は、住宅不況に加え、材価の低落、金融機関の貸し渋り・剥がし等により、経営は益々深刻な状況にあります。

このため、さる十月二十一日、大阪で開催の第三十八回全国木材産業振興大会の宣言決議(別添)に基づき、現下のデフレ不況を払拭し、経済活性化に向けた景気浮揚対策として、早急に平成十五年補正予算を編成する等、下記事項について強く要望いたします。

記

一、大規模な即効のある景気対策  
● 早急な補正予算の編成

木材産業構造改革をスピードを上げて推進するためにも、早急に補正予算を編成する等して、景気に即効性のある需要創出を図り、

目次

- 一面 景気対策を要望
- 二面 ラベリングの検討開始
- 三面 木材利用関連情報交換会でアセトアルデヒド対策等に話題集中
- 四面 農林水産祭に六万五千人余が来場
- 景況調査

デフレ不況から脱却することが急務である。そのため、平成一五年度補正予算として次の事業を要望する。

地域材を活かした新事業・企業創出緊急対策事業(全国四カ所・五億円)

地域木材産業革新事業者対策(一) 促進事業(二億円)

二、活力とゆとりを生む住環境整備

● 住宅建設の拡大は、景気対策の主要メニューであり、住宅ローン減税は景気刺激、とりわけ個人部門の需要刺激と住宅の質の向上に寄与し、かつ、消費需要の誘発にも貢献してきたところである。

このため、本年一二月末に期限が切れる現行の住宅ローン減税の継続延長はもとより、リフォーム住宅ローンの拡充、さらには自己資金分にも減税範囲を広げること、景気浮揚に向けて住宅への潜在需要を掘り起こす必要がある。

また、中古住宅の性能表示のための費用の一部を国や自治体が補助して、住み替え、住み継ぐ等、住宅を重要な社会資本に位置付け、

欧米並みに住環境を整備し、併せて資産価値を向上させることが重要である。

住宅ローン減税の継続延長  
リフォーム住宅ローン減税の拡充  
自己資金分に対する減税範囲の拡大

中古住宅性能表示費用への補助  
三、中小企業に対する貸し渋り対策  
景気回復の近道は、中小企業を活性化させることにほかならない。  
現下のデフレ不況に苦しむ中小

# 「木材製品の自主表示」のための

## 検討をスタート

### ラベリングの手法など検討

全木連は、林野庁の補助事業であるラベリング木材流通整備事業の一環として、学識経験者やNGO、消費者団体などで構成される木材製品自主表示検討委員会を立ち上げ、十一月七日に全木連会長室で第一回目の委員会を開催した。地球温暖化防止をうたった京都議定書の目標を達成するためには、健全な森林の育成・整備と併せ、

企業を金融面から支援し、活力ある産業再生を図るためには、中小企業の隅々にまで資金が行き渡るよつ、金融支援措置を講じられたい。ちなみに、公的資金注入銀行の中小企業向け貸出額は、本年三月末で前期比五兆六千億円余減少しており、これは明らかに貸渋り、貸し剥がしである。

改善し、融資を公的信用保証する際の担保は企業が有する機械設備や製品などの「動産」にまで拡大する等、米国などで一般的な手法として定着している動産担保融資の導入を早急に検討され、中小企業の資金繰りを円滑にされたい。

の足を引つ張ることとなるので、当面、議論すべきでない。とりわけ、経済が停滞している状態で引き上げることは、個人消費を中心にマイナスの影響が出ることに通じて、経済を一層悪化させる。これは税収の一層の低迷につながり、財政赤字の増加要因にもなりかねない。

# 木材利用関連情報交換会を開催

## アセトアルデヒド問題も話題に

全木連は、十月二十九日、東京・千代田区の治山治水協会会議室で林野庁木材課の木村・早川・小西各課長補佐を招き、中央の木材関連団体や関東地区等の都県木連との木材利用関連情報交換会を開催した。

この中で特に注目されたのは、木材からのアセトアルデヒドの放散問題。木材は昔から住宅、道具、製紙原料、燃料など生活を支える基礎資材として使用されてきてお

り、木材から放散されるアセトアルデヒドについては、データに基づいて健康には影響がないことを明らかにし、幅広く情報提供することが必要と思われる。今回の情報交換会で林野庁は関連するデータを来春にも公表する姿勢を明らかにしており、業界としては、それが重要である。

主な議題とその概要は次のとおり。

- 一、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づく有害物質の指定等について(クレオソートの規制)
- 小西課長補佐からクレオソートの規制について大要次の通り説明があった。

企業経営に安心を提供します  
全木連グループの各種共済制度

従業員のために	中型グループ	施設賠償 PL共済	第三者への事故対策に	
経営者のために	大型 L型 無配当型	各総合保障 プラン	木退共	従業員の退職金の準備に
			積立終身	経営者の退職金などの準備に
			ケガ・病氣入院 などの備えに	

全国木材協同組合連合会  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3  
TEL 03-3580-3215(代)



日米木材関係団体の情報交換

# 日米木材関係団体の情報交換

## 当面の課題について情報交換

さる十一月十日(月)午前十一時半から東京・赤坂のA F & P A

規制に関する法律は、有害物質を含有する家庭用品について、保健衛生上の見地から必要な規制を行うものである。現在十七種類の化学物質が有害物質に指定されているが、新たに三物質を有害物質に指定し、それらの家庭用品中の含有量に關し、基準を定める他、現行基準の一部を改めることとしている。

### 二、放散化学物質について

木村課長補佐から、放散化学物質について大要次のとおり説明があった。

木材関連では、厚生労働省がホームセンターで販売されているクレオソート油、クレオソートで処理された木材製品(枕木など)：主にガーデニング用品に再使用されている。(がベンゾピレンなどの発癌物質が入っているため規制を検討している。なお、この規制は、一般家庭用の製品に対するものであり、建築材料として規制されるものではない。

風評被害等も勘案し、これまでできるだけ公にならないよう努めてきた。しかし、農産物の例ではないが、消費者への説明責任を果たさなければ逆効果になる恐れが出てきたことから、林野庁では来春にはデータを整えて公表する予定である。

業がほとんどないためデータが集まらないとのことなので、協力してくれそうな者の情報をお願いする必要はある。

### 三、揮発性有機化合物(VOC)排出抑制検討会について

具体的には、工場の煙突から排出されるVOCを規制するためのたたき台を策定するのが目的。ただし、零細企業対策として、年間十五t未満の塗料や接着剤を扱う工場は規制対象外となる模様。

### 四、海外試験データについて(略)

### 五、JAS技術委員会について(略)

材業界の立場(日本)  
議題四「米国におけるLead(建築物環境評価)の現状(米国) 議題五「日本型森林認証について(SGECの概要)(日本)」

議題六「ウッドマイルズについて(日本)」  
議題七「天然木からの揮発性化学物質について(米国)」(詳細は、次号に掲載)

一般国民が共に収穫を喜び、農林水産業に対する理解と関心を高め、農林水産物の消費拡大を図るため、都道府県、中央・地方の農林水産団体等が協力して毎年十一月に開催しているもの。

# 農林水産祭で木の良さをPR!

## 木工教室、糸鋸工作など好評博す

農林水産省と(財)日本農林漁業振興会主催の平成十五年度(第四十二回)農林水産祭「実りのフェスティバル」が十一月十四日(金)から十六日(日)までの三日間、東京都江東区有明の東京国際展示場(東京ビックサイト西四ホール)で開催された。

初日のオープンセレモニーでは市川一朗農林水産副大臣の挨拶の後、テープカットが行われ、昨年と同様、秋篠宮同妃両殿下がご視察された。本年は天候に恵まれたこともあって六万五千人余の来場者があり、盛況であった。

会場には、「天皇杯コーナー」、「政府特別展示コーナー」、「JASコーナー」、「馬の展示、乗馬体験コーナー」等の特設コーナーが設けられたほか、農林水産団体による展示・即売と、都道府県による郷土農林水産物の展示・即売等が行われた。また、林産部門として全木連が世話役となり、林業・木材業関係団体等の協力により、木材利用推進のPR展示を行った。会場では、各種パンフレットの配布、ボ

景況調査 = 全木協

10月分集計表 ( )内は実数

【流通部門】

モニター数131 回答数79 回収率60%

当月の状況

販売量	増加34% (27)	変わらず56% (44)	減少10% (8)
仕入量	増加27% (21)	変わらず54% (43)	減少19% (15)
販売価格	上昇11% (9)	変わらず85% (67)	下降4% (3)
仕入価格	上昇28% (22)	変わらず67% (53)	下降5% (4)

来月の見通し

販売量	増加15% (12)	変わらず66% (52)	減少19% (15)
仕入量	増加14% (11)	変わらず63% (50)	減少23% (18)
販売価格	上昇10% (8)	変わらず84% (66)	下降6% (5)
仕入価格	上昇18% (14)	変わらず80% (63)	下降2% (2)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	22% (15)	75% (52)	3% (2)
南洋材	3% (2)	89% (57)	8% (7)
北洋材	27% (17)	70% (45)	3% (2)
国産材	16% (10)	79% (49)	5% (3)
建材	19% (12)	75% (47)	6% (4)

乾燥材取引への関心度	高い	ほどほど	低い
	54% (37)	45% (31)	1% (1)

【製造部門】

モニター数114 回答数74 回収率65%

当月の状況

販売量	増加46% (34)	変わらず47% (35)	減少7% (5)
仕入量	増加39% (29)	変わらず51% (38)	減少10% (7)
販売価格	上昇31% (23)	変わらず62% (46)	下降7% (5)
仕入価格	上昇39% (29)	変わらず54% (40)	下降7% (5)

来月の見通し

販売量	増加11% (8)	変わらず69% (51)	減少20% (15)
仕入量	増加15% (11)	変わらず68% (50)	減少17% (13)
販売価格	上昇11% (8)	変わらず77% (57)	下降12% (9)
仕入価格	上昇16% (12)	変わらず74% (55)	下降10% (7)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	28% (9)	63% (20)	9% (3)
南洋材	0% (0)	90% (19)	10% (2)
北洋材	24% (8)	70% (23)	6% (2)
国産材	20% (11)	57% (32)	23% (13)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	25% (5)	50% (10)	25% (5)

スターの展示をおこなったほか、木に関する相談(本年は特に合板のホルムアルデヒドに関する質問が数件あった。)コーナーも設けた。このほか、次の催し物を行い、いずれも好評であった。

催しの内容

「親子日曜大工教室」  
日曜大工クラブの会員が指導にあたり、縁台、踏み台、小物入れ等予めキット加工したものを製作した。無料とあって毎年参加希望者が多く、特に縁台、踏み台の人氣が高く盛況であった。

「糸鋸工作教室」  
ウッドイランド東京の指導による

り、原板に描いた動物画を糸鋸でくり抜いて製作した。特に女の子連れの親子に大変好評であった。

「展示・即売、アンケート」  
日本特用林産振興会の協力により竹材加工品等の様々な木工加工品の展示・即売を実施した。又、きのこに関するアンケートを行い、回答者には珍しいきのこのや、乾燥しいたけ、しいたけの原木をプレゼントした。行列ができるほどの盛況であった。

参加団体(十三団体)  
(社)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会、全国木材

防虫JAS協議会、全国木造住宅走り造住宅機械プレカット協会、(財)日本合板検査会、日本合板工業組合連合会、日本集成材工業協同組合、(財)日本住宅・木材技術センター、日本特用林産振興会、日本複合床板工業会、日本木材防腐工業組合、(財)日本木材総合情報センター。

協力機関  
関東森林管理局東京分局ウッドイランド東京、(社)東京都木材団体連合会、日本日曜大工クラブ。

林業・木材産業の発展のために

お役に立ちます

林業・木材産業信用保証

推進資金(利率1.5%)、改善資金(無利子)他  
ご利用ください。

公的機関が保証します

独立行政法人 **農林漁業信用基金**

後楽事務所(林業部門)

副理事長 **加藤 鐵夫**

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12(林友ビル5階)

TEL 03(3813)5371 FAX 03(3812)8842

ホームページアドレス <http://www.mmjp.or.jp/kikin>

メールアドレス [kanrisitu@tokyo.email.ne.jp](mailto:kanrisitu@tokyo.email.ne.jp)

